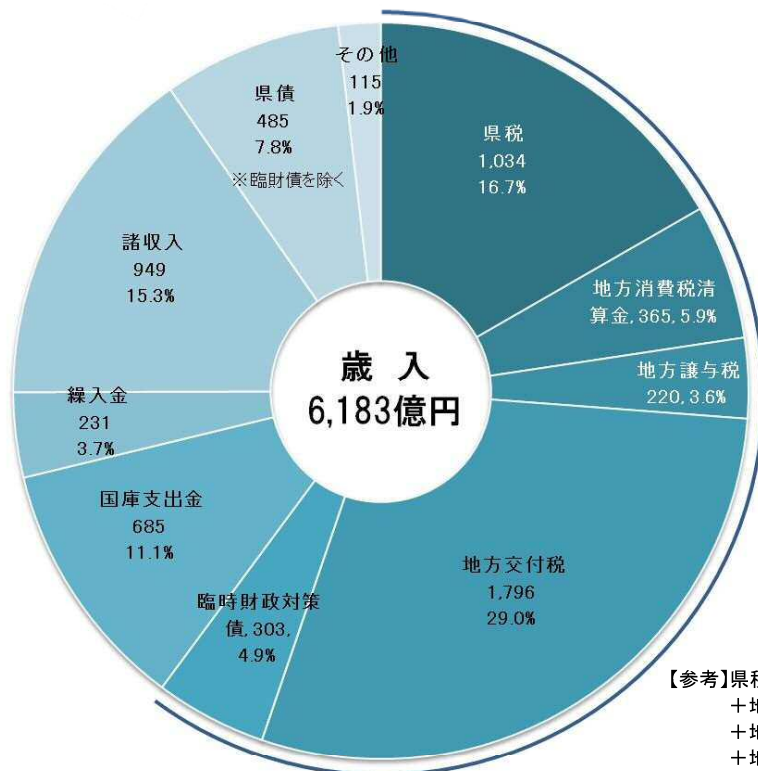
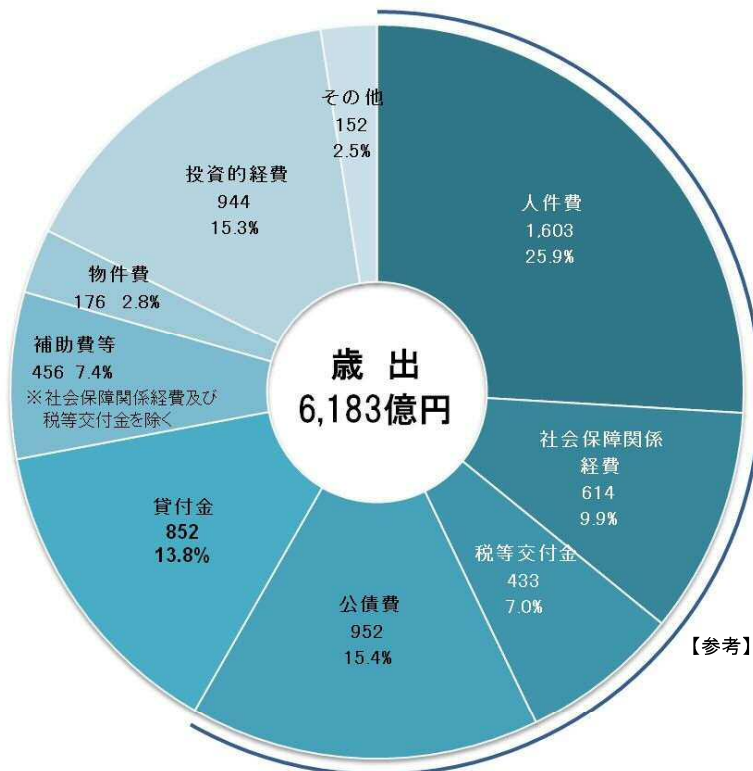


## 山形県財政の状況

平成 27 年 7 月  
総務部

## 1 平成 27 年度山形県一般会計予算の構成

(単位：億円)

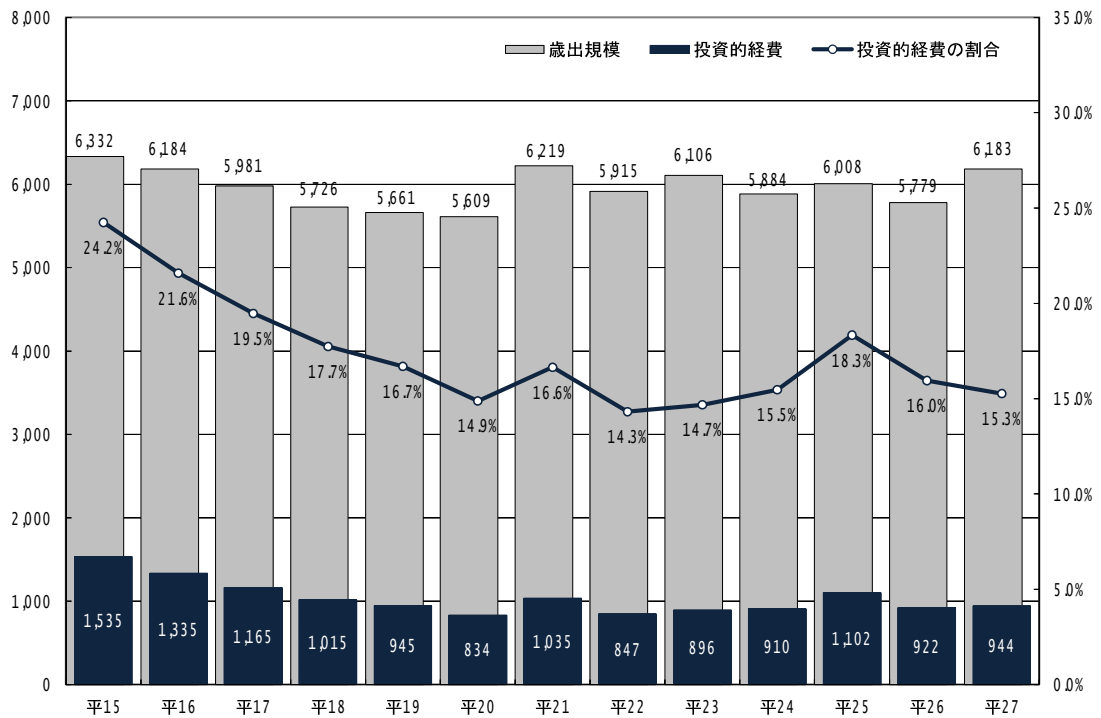


※ 端数処理の関係で合計と内訳が一致しない場合があります。

## 2 歳出規模及び投資的経費の推移

(平成25年度までは決算、平成26年度は2月補正後予算、平成27年度は当初予算)

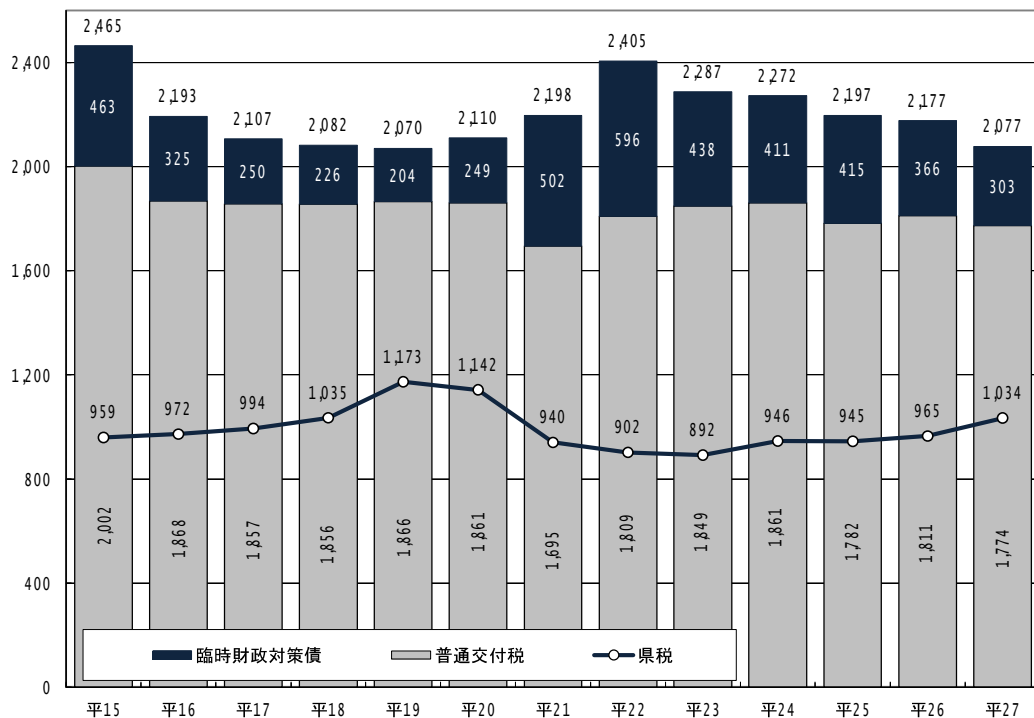
【億円】



## 3 普通交付税(臨時財政対策債含む)の推移

(平成25年度までは決算、平成26年度は2月補正後予算、平成27年度は当初予算)

【億円】



## 4 財政収支見通しを踏まえた本県の対応（山形県財政の中期展望より）

持続可能な財政運営を確保するためには、歳入・歳出の両面から財源不足額の解消に向けた対応策を講じ、調整基金取崩しの抑制に努める必要があります。

- 歳入面では、県有財産の売却、基金や特別会計の利用見込みのない資金の活用、財源対策のための県債の発行、受益者負担の適正化等によって歳入を確保します。
- 歳出面では、事務事業の見直し・改善や行政経費の節減・効率化など、徹底した歳出の見直しを行い、自由度の高い歳出構造へ転換していきます。

### 《財源不足額への対応（当面の数値目標）》

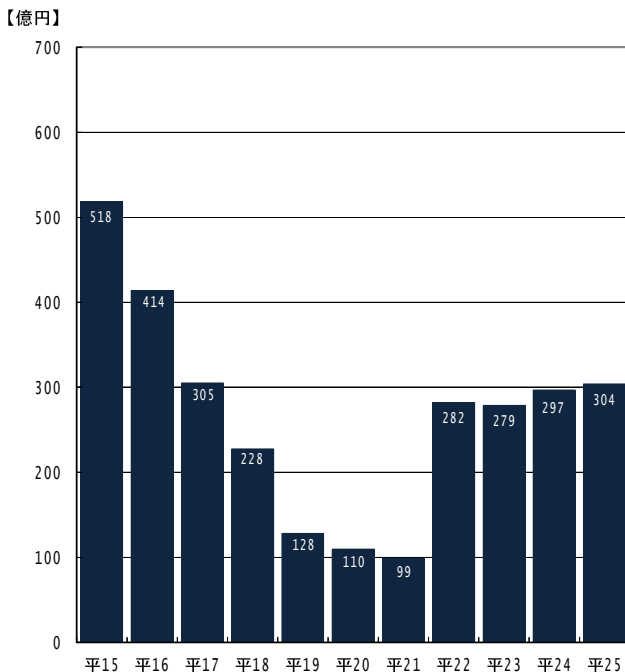
		（単位：億円）				
		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
財 源 不 足 額 (A)		△190	△147	△148	△168	△179
歳 入	県有財産の売却、有効活用	3	2	2	2	2
	基金、特別会計資金の有効活用	25	30	15	29	48
	財源対策のための県債発行	65	94	90	76	48
	受益者負担の適正化等	0	1	1	1	1
	計 (B)	93	127	108	108	99
歳 出	事務事業の見直し・改善 行政経費の節減・効率化	20	20	(20)	(20)	(20)
	計 (C)	20	20	40	60	80
合 計 (D=B+C)		113	147	148	168	179
対 策 後 の 調 整 基 金 残 高		235	235	235	235	235

注1：「事務事業の見直し・改善、行政経費の節減・効率化」の括弧書きは当該年度の新規削減額である。  
注2：歳入については、現行制度をもとに試算している。

## 5 中長期的な財政健全化目標

健全な財政運営を行っていくために、調整基金の取崩しの抑制に努めるとともに、中長期的な財政健全化目標として、「臨時財政対策債と補正予算債を除いた県債残高の減少」を目指します。

### 《調整基金残高の推移（年度末決算）》



注：調整基金残高は、財政調整基金及び県債管理基金（一般分）の残高の合計を記載している。

### 《県債残高の推移（年度末決算）》

